

会長 大浜 尚子



あの悲惨な「阪神・淡路大震災」が1月17日に起き、そしてあの忌まわしい「地下鉄サリン事件」が3月20日に起こった平成7年。

その年の4月1日(1995年)、私たちの駒場ラジオ体操会は正式に設立されました。今日が30回目の設立記念日。設立時には28人の世話人のご尽力があったと記録に残っていますが、会のルーツをたどると、その10年以上も前の昭和57年(1984年)の秋にリニューアルなった駒場公園に、カセットラジオを持参してラジオ体操を楽しむ人の輪ができたと聞いています。

その先人たちが、まだ集まる仲間も少なかった頃にもかかわらず市当局に陳情して、昭和63年11月に現在のタイマーで自動的に放送スイッチが入るスピーカーをメインスタンドにつけてもらいました。この偉業を私たちは今、毎朝享受しているわけですね。

記録によれば、設立当時の平成7年度末の維持会員は126人となっています。その後は順調に増えていきましたが、何年間も100人台で推移してきました。ところが平成25年(2013年)7月に市の「長寿応援制度」をスタートさせたところ、加入する会員も増加の一途をたどり令和6年3月末には401人を記録し、ついに400人の大台を突破するまでになりました。

また、1年を通じてチビっ子達がやって来て前に出て大きな声で体操をリードしてくれるのも、私たちの会の特徴です。地域が一つになってラジオ体操を楽しんでいるという証でしょう。こんな活動が評価されて、平成29年には内閣府担当大臣から「社会参加活動事例」として認定を受け、また令和2年には、優良団体として、NHK・全国ラジオ体操連盟・かんぽ生命の3者連名による全国表彰も受けました。

ラジオ放送だけで楽しめる健康づくり、地域のコミュニティーづくり、そしてシニアの生きがいづくりを支えるラジオ体操は、令和10年にはNHKでの放送開始100周年を迎えます。私たちの駒場ラジオ体操会も設立50周年、100周年と続いていくようお願いしたいものです。

「設立30周年」を記念して、会として来月には会員全員に“記念Tシャツ”をお配りするとともに、会員の皆様全員を対象に“アンケート”を実施し(本号に挟み込んであります)、回答を集計・取りまとめ発表することにしていきますので、楽しみにお待ちください。

(2025年4月1日(NO.46)掲載)